団体相撲で世界優勝

８月29日から31日まで、台湾の高雄市で開催された「世界ジュニア相撲選手権」で団体優勝を果たした日本代表チームの一員で木造高校２年の菊池大史芽（ひろしげ）さんが９月２日（火）、相川町長を訪れ、喜びの報告をしました。

国内大会等で優勝経験をもつ学生が参加した選考会で日本代表選手に選抜された菊池さんは、25か国が参加した同大会団体トーナメントに中堅として出場。準々決勝ではグルジア、準決勝でエジプト、決勝でモンゴルといった強豪国の選手を次々と破り、チームの優勝に大きく貢献しました。優勝した瞬間、雄叫びをあげるほど喜んだという菊池さんは「インターハイも選抜大会も個人優勝するように今後も努力を続けたい」と抱負を語りました。

△団体戦優勝に中堅として大きく貢献した菊池大史芽さん

あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。

健脚を競い合った県民駅伝

９月７日（日）、県内40市町村のランナーたちが郷土の栄誉をかけ、健脚を競い合う「第22回青森県民駅伝競走大会」が青森市で開催されました。

当町からは、池田大助さん（１区）、相馬健佑さん（２区）、安田照輝さん（３区）、秋庭正明さん（４区）、佐藤亜海さん（５区）、田中智理さん（６区）、石岡伶奈さん（７区）、佐々木天龍さん（８区）の８人が町の代表選手として、日頃鍛え上げた健脚で33.8kmのコースを駆け抜け、鶴田町のたすきをつなぎ、ゴールを目指しました。

意地と粘りを見せた選手一人一人の走りの結果、当町は２時間１分６秒のタイムを出し、町の部で16位、出場以来過去最高の成績を収めました。

△たすきを受け取り、走り出す第７区石岡選手

秋の星空とキャンドルの炎

９月 14 日（日）、津軽富士見湖パークで「星空のキャンドルナイト」が開催され、会場のパーク駐車場や鶴の舞橋に並べられた約 700 個のキャンドルの明かりが幻想的な空間を彩っていました。

キャンドルはワークショップに参加した町民の方々や町内の保育所の園児たちが作ったもの。秋をイメージした飾り付けに加え、鶴やスチューベンなどの模様があしらわれた趣向を凝らしたキャンドルが並べられ、訪れた人々は秋の星空とキャンドルの炎を見つめながらゆっくりとした時間を過ごしていました。また、イベントでは、当町出身の太田充さんがボーカルを務める「THE ゴリアカラス」のライブも行われ、訪れた人々を楽しませていました。

△訪れた人々はキャンドルの炎に目を輝かせていました。

児童が黄金色の稲を収穫

９月 16 日（火）、菖蒲川小学校の全校児童 44 人が同地区の石岡三弘さん所有の水田で、春に植えたもち米の稲を収穫しました。

この日、児童とともに稲刈りをした相川町長は「皆さんが植えたずっしりと重い稲を刈り取り、実りの秋を楽しんでください」とあいさつ。５年生の田中陸奥（りく）さんと中畑佑太さんは「丈夫な稲を育てるためにはたくさんの作業が必要だということが分かった。おいしいお米ができるように気持ちを込めて稲刈りをしましょう」と大きく育った黄金色の稲の収穫に喜びを感じていました。

収穫されたもち米は 11 月に開催される同小の三世代交流もちつき大会でふるまわれる予定です。

△バインダーで稲を刈り取り、児童たちがせっせと運びました。

長寿を祝う敬老会

９月 17 日（水）、鶴遊館で敬老会が開かれ、関係者、来賓あわせて約 300 人が出席しました。

開会にあたり、出席した相川町長は「長寿を重ね、町の発展に寄与された皆さんの豊富な経験と知恵をまちづくりのために今後もお借りしたい」とあいさつ。続いて、最高年齢長寿ご夫婦の原市太郎さん・きやさん（派立）、80 歳の長寿を迎えた 198 人の方々にそれぞれ顕彰状が、また、100 歳を迎えた棟方クニさん（菖蒲川）らに内閣総理大臣お祝い状が相川町長より手渡されました。

町では９月 17 日現在、95 歳から 99 歳の方が 49 人、100 歳以上の女性が３人おり、今年度中には男性２人、女性４人の方々が 100 歳を迎えます。

△６年連続の受賞となった原市太郎さん・きやさんご夫婦